



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報

第3号 / 2018-2019年度 BULLETIN

第3号 / 2019.7発行

京都部部長主題	Will the Circle Be Unbroken 永遠の絆	京都部部長	川上 孝司	京都パレス
西日本区理事主題	未来に残すべきものを守り育てる Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future. めぐり逢う一筋の光 Seek Your Encounter with a Ray of Light	西日本区理事	遠藤 通寛	大阪泉北
国際会長主題	'Yes, we can change.' 「私たちは変えられる」 スローガン 'Courage to challenges' 「挑戦への勇氣」	国際会長	Moon Sang-Bong	韓国
アジア太平洋地域会長主題	'Action!' 「アクション!」 スローガン 'With Pride and Pleasure' 「誇りと喜びをもって」	アジア太平洋会長	田中 博之	日本

第23代京都部部長 川上 孝司 京都パレスワイズメンズクラブ

Will the Circle Be Unbroken 永遠の絆



京都部部長を終え

各クラブ会長として抱えておられる課題はいっぱいあったことでしょう。クラブのみんなのためになっているだろうか、楽しんでいてくれているだろうか。またそれが社会のためになっているのだろうか。クラブ会長の思いは自分が楽しむ以上にクラブメンバーの気持ちを大切に、適切な判断のもと、クラブの運営に携わらなくてはいけない大変なお役目だったと思います。また将来を見据えた会員増強という仲間の数を増やすことも大きな課題となったと思います。そこには新しく迎え入れる会員にしっかりとしたクラブの意味方向性を記さなければなりません。

そのために私たち京都部役員は各クラブ会長に対し、しっかりとサポート体制を組む必要がありました。YMCAサービスに対する方向性、国際交流に対する各クラブへのサポートは京都部としての大切な仕事でありました。

私は今期部長としての主題Will The Circle be Unbroken「私たちの絆は永遠です」を掲げておりました。各クラブに対する国際交流のサポート、そして国際CS活動であるTOF・FF・ロールバックマラリア運動は私たちワイズメンにとっては大変重要な活動であります。

特に力を入れアピールしてきたのはロールバックマラリア運動(RBM)であります。RBMに関して国際からの報告を見ますと、モザンビークでの発表ではここ3年間マラリア患者の数は、停滞し減少していません。活動を止めることはマラリアによる死者の数を増加させることとなります。だからこそ、2030までにマラリアをゼロにする、マラリアがない状態まで巻き取る(ロールバックする)我々の活動が、より必要なのだと思っています。会員一人一人が世界と繋がっているワイズメンズクラブ国際協会メンバーだからこそできる意義のある奉仕活動です。23期が終りましても、引き続きご理解とご支援をよろしくお願いしたいと思います。

京都部長として真剣にワイズメンズクラブを見つめた時、部長職を終えようとする今、自分自身が世界の多くのワイズメンの歯車の一つであったことに気づかされます。京都部のワイズの皆様、しっかりと部をお支えいただき心より感謝いたします。1年間ありがとうございました。



部役員

次期部長 島田 博司

京都ウエストワイズメンズクラブ

早いもので第23期も残すところあと数日となりました。

この一年間、川上部長の何事にも全力で取り組まれる姿勢を後ろから見させていただき、この先、自分に部長職というものが本当に務まるのかと当初不安で不安で仕方ありませんでした。役員会の進め方であったり、評議会の進行であったり今期の三役さんのお勤めには勉強させていただくことばかりでした。

ようやく半年がたつか経たないくらいから準備の方も次期三役・役員さんのお助けにより次期の方向性というものが見えだした頃でしょうか、その不安もだんだん消え出し、自分の想いというものが芽生えてきました。そうなるとまた頭の中であれもこれもと考えることが増えだし…。私の体は1年間もつのでしょうか？（笑）

そうは言ってもワイズデー実行委員会であったり、部の集まりであったりすると今まで挨拶ぐらいしかしなかった方ともいろいろ話をするようになり、今では人見知りの私でもそういう集まりがあると楽しくって楽しくって仕方ないです。部長職の特権ですね。さあ第24期が始まります。準備に勝る成果なし。この言葉を胸に自分のできることを楽しみながら1年間頑張りたいと思います。



監事 廣井 武司

京都プリンスワイズメンズクラブ

監事という役割の難しさを感じた1年でしたが、川上部長を中心にキャビネットの皆様、そして各事業主査・委員長の皆様のお働きで勉強になった時間を過ごすことができました。

部役員会の運営におけるキャビネットの皆様のご努力には、頭が下がる思いでした。事業主査の皆様にあつては、事業報告も確実になされておりこれからの京都部にとって、しっかりとした足跡が残せたのではないかと思います。

西日本区における京都部はなにかと注目を集めていますが、クラブ間の格差というところで注意しなければならないところがあります。部が中心になって事業をおこすことに、全てのクラブの同意が得られるとも限りません。クラブの目標達成のために、部がもつコーチングスキルを発揮して、すべてのクラブにバランスよく力を与えてくれる部であってほしいと感じた1年でもありました。1年間健康で奉仕できたことに、感謝。



直前部長 竹園 憲二

京都ZEROワイズメンズクラブ

下半期も残すところ2日です。部長期も直前部長期も一年間を大変早く感じました。それは、私自身が楽しかったからだと思います。京都部役員というグループの中で、思いを一つに話し合い共に同じ思いで時間を過ごすことが出来たから充実していたのだと思います。

次期部長期の時は、楽しむ余裕などありませんでした。ワイズの勉強、部のあり方の勉強と部長期への準備で色んなことを考えました。思いほど言葉にすることは大変難しいと考えるからです。次期は京都部役員を監事として4年目に入ります。自分を含め廣井部長期川上部長期と共に経験させていただきました本当に感謝です。次期島田部長期も大変楽しみにしております。

最後に、廣井監事4年間ありがとうございました。川上部長期役員の皆様本当にお疲れ様でしたと共にありがとうございました。



統括連絡主事 藤尾 実

京都YMCA

2018年度もワイズメンズクラブ京都部各クラブのみなさまには多大なるご支援をいただき、感謝申し上げます。各クラブがそれぞれの場所で奉仕、親睦に力を尽くし、よりよい社会づくりの輪を広げていただきました。ワイズデーでは、ワイズメンズクラブ京都部が一丸となって、各クラブの地域奉仕活動などを中心にアピールをおこない、ワイズメンズクラブが地域に根ざしていることの貴重な広報の場となりました。

部長主題「永遠の絆 Will the Circle be Unbroken.」のもと、YMCAがめざす「誰もが公平に将来の夢や希望を描くことができる『ポジティブネット』のある社会」になるための活動をワイズメンズクラブ各クラブが、いつも担っていただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



書記 小林 千春

京都パレスワイズメンズクラブ

2017年6月から準備三役会を開始して丸2年、ようやく部の仕事が終わりました。最初は人選、その後は京都部会、さらにその後はワイズデーに時間を費やした感があります。いずれの行事も、京都部各クラブのご協力を得て盛況のうちに終えられたこと、誠に感謝申し上げます。

部書記を拝命して思ったのが、案外、部の記録が少ないということでした。そこで、今回はディスクローズに励もうと考え、議事録には後々の期でも参考にさせていただけるよう比較的赤裸々に記録してみたり、主査活動報告を毎月主査通信にアップロードするなど試みました。部内18クラブのメンバーでこれらを確認される方は極めて少ないと思いますが、いざ、部の運営に携わるという場合に何らかの役に立つのであれば幸いです。

1年間、部の運営にご協力いただき大変ありがとうございました。



1年を通してお休みさせていただくことが多く、部役員の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。それでもどうにか1年間会計の仕事を滞りなく進めることができたのは皆さまのご協力あってのことだと思います。決算の処理を終え、しっかりと次期へ引き継ぎたいと思います。1年間ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

事務局長 山本 一博

京都パレスワイズメンズクラブ

1年間、多くのメールを送らせていただきました。皆さんにとりましてはスマホの電池をたくさん消費したと思います。

部事務局というのは、ある意味で無責任でお気楽な役割でありました。客観中立の立場で情報を集めて部長や主査、各クラブ会長の判断に資することが役割であり、そういう意味では結果責任を負われている皆さんに対して、早くお願いしますとか、方針を決めて下さいとか、勝手なお願いを言い過ぎたと反省しております。にもかかわらず、常に暖かくかつ迅速にご対応いただきました皆様には心より感謝いたします。誠にありがとうございました。



書記 福井 正太

京都パレスワイズメンズクラブ

まずは部役員の皆様、各クラブ会長様、一年間本当にお疲れ様でした。

準備役員会から約一年半。長かったような短かったような時間でした。部のキャビネットになって初めて知ったことや経験したことは、これからのクラブ活動に活かしてまいります。ご迷惑をお掛けしたと思いますが、本当にありがとうございました。

最後に書記の仕事を通じてたくさんの方々に出会えたことを感謝申し上げます。



事務局 爲國 光俊

京都パレスワイズメンズクラブ

部の三役は、書記2名・会計1名・事務局長1名の4名体制での運営が過去の通例でしたが、川上部長期は事務局1名を増員して5名体制でスタートいたしました。もし、三役のどれかの活動が止まったり、なにかの都合で休まなければならない際には代役を務めて部の運営に支障がないようにと、それこそ働き方改革の最先端をいくような新たな試みでありました。いま1年を振り返ると、優秀な主査のみならずや三役のご活躍のおかげをもちまして事務局員の出番はなく、当初の計画通りではありませんでしたが、順調な部の運営と活動がおこなえた証ではないかと思っております。皆様方のご協力をいただきまして1年を終えたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



会計 安達 雅直

京都パレスワイズメンズクラブ

京都部の会長・役員の皆様、1年間お疲れ様でした。決算書の作成を残し、会計としての役目を終えようとしています。この1年を振り返ると、期初の予算作成、前後期の部費の徴収、支払など多くの業務を通じて、部の事業への理解を深めることができました。

京都部会計の収支を見てみると、収入は部の会員数に依存しており、支出に関しては特にワイズデーには例年より多くの予算が組まれていたの、西日本区から支援金をいただかなければ赤字決算になっていたと思います。会員増強は非常に重要な課題であると感じました。



事業主査

主題 理解し、そして次に伝えよう

YMCAサービス・ユース事業主査

松崎 和彦

京都トゥービーワイズメンズクラブ



この1年間、Yサ主査を勤めましたが、日々勉強の1年間でした。この1年間は長いようで短かったです。思い起こせば、初めての事業主査の立場でYサ懇談会を実施したのが昨年の4月。それから約1年間で、様々なYサ事業に参加いたしました。リトセンやサバエのワークにも参加いたしました。リトセンチャリティーゴルフやY Y Yフォーラムには多数の参加をいただき、誠にありがとうございました。Y Y Yフォーラムでは、講演会とグループディスカッションをしました。グループディスカッションは大いに盛り上がり、ワイズとユース、YMCAのこれからの関係について話が弾んだようです。そこでは、ユースについて考える機会をいただきました。ユースについて考える機会を与えられたのは、Yサ主査をして初めての貴重な経験の一つです。この1年間の経験を、これからのワイズ活動に生かしていきたいと思います。

何れにしても、部長その他京都部の役員の皆様、各クラブの皆様を支えられての1年間でした。1年間ありがとうございました。

主題 「TEAM KYOTO」～共有し更なる奉仕を！

地域奉仕・環境事業主査

吉岡 幸次

京都パレスワイズメンズクラブ



1年間CS主査をという役職を通じて、いろいろな経験をさせていただきました。

私はワイズに入会してちょうど10年目になりましたが、10年やっておりましてもなかなか他クラブの事業に参加する機会はなく、主査をすることで他クラブの事業活動や方針を間近に聞き、体験し、理解することができたと思います。また、部長訪問随行やゲストスピーカーで各クラブにお伺いしたことも私の貴重な経験となりました。

CSが中心となるイベント、ワイズデーも各クラブ会長、CS委員長が4ヶ月も前から協力していただき、素晴らしいワイズデーが開催できたと思います。チャリティーボウリングに関しましても、ホストクラブの洛中クラブさんの活躍で、例年にも増した楽しいイベントとなりました。

一年通して京都部各クラブの行動力と団結力を実感した一年となり、私のこれからのワイズ活動に大きな力となりました。反省や改善点もまだまだありますが、これからも自クラブだけではなく、ワイズメンズクラブという大きな枠での活動をすすんでおこないたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

主題 クラブ生命の無限性～魅力のあるクラブを作ろう！ 京都部600名にむけて、プラス10%の会員増強を目指そう

EMC事業主査

山口 雅也

京都キャピタルワイズメンズクラブ



・＜総括＞1年間EMC主査のお役目を進める中で、各クラブがいかにたくさんのEMCに関する事業を開催されているのかが、わかりました。そして新会員獲得のための事業を開催し、現メンバーとのメンバーシップを深める懇親の機会を意識的に持っておられるクラブは一人また一人とメンバーが増えているか、今期のタイミングでは動きは少なかったですが、次期、次々期と大きくなっていかれるだろうな、という兆しが見てとれました。

・＜EMCフォーラム＞8月と2月にEMCフォーラムを開催しました。久しぶりの懇親会も兼ねた情報交歓会に各クラブたくさんのご参加をいただき、クラブの垣根を越えてEMC事業について集中した時間を持てたことはとてもよかったと思います。EMC活動を具体的にイメージしていただく機会となったと思います。

・＜ニュースレター＞10月から3月にかけて合計6号を発行しました。主査一人がEMCに関する情報を持っているより、京都部の皆さんで共有することで、「EMCしよ。」と感じていただけないかと考えました。

・＜会員数状況＞入会36名 退会28名（うち6月に10名）
期首499名 期末507名 純増加8名

『一年間、様々な集計や呼びかけに対するご対応やご提出資料の協力をいただきまして誠にありがとうございました。各クラブの益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。』



主題 世界に広げよう！ワイズNetwork！

国際・交流事業主査

安平 知史

京都ウエストワイズメンズクラブ



第23期京都部川上部長のもと、在京クラブの皆様のご協力をいただきながら国際・交流事業主査として、何とか1年間務めさせていただくことができました。ありがとうございます。

今期は「交流」を柱にIBC/DBCを推進する活動をして参りました。在京クラブの皆様もIBC・DBCについては積極的に取り

組まれているクラブも多く、期のカウントの期限は別として7月～6月まで2組のIBC締結、またDBCについても2組の締結がございました。次期の仙台アジア大会につきましても2組のIBC、1組のDBC締結予定です。

これまでより、更なる一歩踏み込んだ交流を続けていく中から生まれるご縁は絆に変わっていき、自分自身の人生において大きな影響を与えられることでしょう。ワイズの奉仕活動も素晴らしい活動ですが、やはり交流はワイズの大きな魅力ですね。交流がクラブ→部→区→アジア→世界へ。素敵な出会いは無限です。私自身も1年間、たくさんの方と出会い大きくその魅力を感じた一人でした。今期のたくさんの学びを次期の竹山国際・交流主査へしっかりと引継がせていただきたいと思います。

1年間、本当に楽しみながらお役を務めさせていただきました。今期の国際・交流事業活動について、たくさんのご支援、ご協力いただき、ありがとうございました。感謝！です。

主題 負の連鎖から「笑顔の連鎖」へ

メネット事業主査

岡西 博司

京都プリンスワイズメンズクラブ



後期の活動は「ピンクシャツデー」を取り上げました。メネット事業として活動しやすいのではないかと思います、期の初めから計画に入れていました。ピンクシャツデーに関しては、横浜YMCAが早くから取り上げ素晴らしい活動をされていましたので、是非とも横浜YMCAの田口総主事に講演をお願いしたく連絡していましたが、非常にお忙しい方で講演が決まったのが1ヶ月ほど前で、各クラブの方々に連絡が充分でなく、京都部の役員の方々が東奔西走していただき何とか講演にこぎ着けることができました。時間調整して来ていただいたメンバーの方々には、本当に感謝に絶えませんでした。

さて、今期一年間を振り返ってみると、京都のほとんどのクラブには、メネット会自体が存在していません。私の持論でもあります。メネットとメネット会は別物であると思っています。そんな中、西日本区にはメネット主任があり、京都部にはメネット主査があります。各部によってメネット会の考え方が違うのです。メネット会がないから関係ないと言わず、新しいCS事業が増えたくらいに思ってくださいと、各クラブをお願いしてまいりました。とりあえず了承していただいたのか、今期の初めに開催したメネット会としての「いのちの電話」講演には130名以上のメンバーの方が参加していただき、本当に感謝でした。



先日の西日本区大会において、理事特別賞として、「獅子奮迅賞」なるものをいただき非常に光栄に思っております。ちょっと恥ずかしい気もありますが、京都部の役員の方々、各クラブのメンバーの方々、本当に皆様に支えられてここまでこれたのだと思っています。一年間本当にありがとうございました。

主題 光を・・・もっと、光を！

PR委員長

東田 吉末

京都トップスワイズメンズクラブ



今期、京都部のPR委員長を務めさせていただきました東田吉末です。1年という短い期間でしたが京都部での活動は、今までのY's menでは味わうことのない経験となりました。感謝申し上げます。

委員長として1年を振り返りまして、やはり1番のイベントは、昨年11月京都市北区文化会館にて行われたY's dayだと思います。初めての京都市との協賛で3つの会場でのコンサートと各クラブで行われているCS活動の紹介、縁日ブースや物販ブース、そして他のボランティア団体のブースも交え沢山の皆さんにお運びをいただきました。ありがとうございました。

そして何よりも私達Y's menの底辺に流れるのは奉仕の精神と仲間を大切に想う気持ちだと感じました。部長公式訪問に随行したとき、皆さまの活発な例会作りの中に誇りと共にそれを感じましたし、YMCAの活動や地域での活動の中に私達が胸を張って歩み続けるパワーも感じました。そのパワーをY'sの内外にPRし続けて行けば私達、京都部のY's men発展は確かなものだと思います。

最後に振り返りますと「あれもこれも」と不十分なところが沢山ございます。お詫びすると共に次期でのPR委員会委員会の壮大な活動も伺っており陰ながら応援させていただきます。ありがとうございました。



各クラブ会長

会長主題 「やってみたいより、何かをやろう」 ～ Put thoughts into action! ～

京都ワイズメンズクラブ 相原 隆幸

今期会長をさせていただくことになった時から、自分はYMCAサービス・ユース事業に力を入れていこうと考えていました。その目標に向かい新規事業として三条保育園の遠足・人形劇鑑賞会や日本語科の学生との交流などをおこなうことができました。この1年間で新しいことをおこなうためにクラブメンバーやそれ以外の方々にも大変なご尽力をいただいたことに感謝しています。しかし、1年間会長としていろいろなことをおこなってきましたが自分自身がまだまだ未熟であることも再認識できる1年だったことも印象深いです。この1年間でやっとワイズメンズクラブというものを少しは

理解できるようになったと思います。ワイズメンズ歴5年目の自分にとっては、この会長であった時期がもっとも濃密な時間だったと感じています。会長期は終了しますがここを新たなスタートと考え、もう一度ワイズメンとして再出発をしていきたいと思います。来期よりはYMCAサービス・ユース事業委員長をさせていただくので会長期に培った知識・経験をしっかり生かしてきたいと思います。1年間お世話になりました。



会長主題 『先意承(せんいじょう)問(もん)』“Being proactive” 気持ちを察し「知恵」と「行動」を

京都パレスワイズメンズクラブ 大森 夏彦

下半期を振り返っても多くの事業がおこなわれました。特に『ぼかはらっばきょうだいの日』や『チャリティーラン』のYMCAサポート、『和敬学園奨学金授与』や『日本赤十字社献血支援』などの地域奉仕、奉仕事業を支える色々なファンドには多くのメンバーの協力を得て実施することができました。EMC事業はメンバー間のより深い懇親を薦め、交流事業は海外を含めた4クラブによるクワッドラングル締結に向け、次期に上手く繋がっての実現を待望することになりました。広報事業は定期的なブリテン発行、ドライバー事業は円滑な運営と掲出用の例会次第ボード製作をおこなうことができました。

今期は、自クラブから京都部へ部長及び事務局メンバー、並びに、地域奉仕・環境事業主査を輩出した期でもありました。京都部では

部内の各クラブから多大なるご協力を頂戴したものと真に感じております。

国際協会・アジア太平洋エリア・京都部内のクラブ会長という立場を通して、本当に人生にとってかけがえのない数々の経験をさせていただけたことを感謝しております。

最後に、クラブ運営ご理解をいただいたメネットの皆様と例会の際にご講演いただいた方々や関わって下さった皆様へ御礼を申し上げますと共に、今後の皆様のご活躍と、ワイズメンズクラブ国際協会の益々の発展を祈念して終わります。



会長主題 人とつながる。次世代に向けて。

京都ウエストワイズメンズクラブ 林 正章

今期は交流活動に重きを置いた一年でした。アジア大会へのIYC参加、今期ワイズ初の留学制度による新しい交流。YMCAの各事業、EMC例会・他クラブ例会への積極的な参加により、より深く、新しい「人とのつながり」ができました。特にCS・環境（ウエスト30周年記念事業）での竹林事業は新しい試みで交流の場として、流しそうめん、BBQ、PIZZA、お正月にはおぜんざい、また本来のタケノコ掘りをメンバーのみならず支援先の徳義会さん、また他クラブの方と活動できたことに感謝いたします。これらの活動はウエストメンバー同士の交流にもなり、相互理解・活発な意見交換

ができました。

今期はクラブ内で様々なアドバイスをいただき、私自身がワイズのことを熟慮し、自己研鑽して成長できました。自分自身の高まりをメンバーにも共有してクラブの底上げを少しはできたと思います。

会長期で得たものを次期へとつなぎ、よりよいクラブを目指していきたいと思います。一年間、ありがとうございました。



熊本にし交流



竹林



新年例会

会長主題 『一肌脱ぎますわ』 新しい世代へ

京都めいぶるワイズメンズクラブ 坂下 昌史

何かほっとしたような、寂しいような、物足りないような…そんな少し余裕のあるような思いで会長期を終えさせていただきました。ですが、この思いがあるのもメンバーの協力があり、会長職という重席を少しでも軽減していただいたからこそだと思っています。

今期は2名のメンバーの入会がありドロップアウトはなく若手メンバーが増えていくことは、会長期とし大変嬉しいことでした。今期はクラブ設立35周年を迎え、周年事業として5月に福岡博多の地でDBC先である熊本ひがしクラブとの「締結10周年合同記念例会」および「三国IBC合同例会」を開催させていただきました。これは私の期首からの思いでもあり、通常のホテルでの周年はしないの方針もあり、このような素晴らしい周年例会ができたことは

山川実行委員長はじめメンバーの皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。

今期の会長主題である「一肌脱ぎますわ。～新しい世代へ～」のとおり次期の井上会長以下若手メンバーに託していけたかと自画自賛しております。

最後になりますが、メンバーの皆さまお支えいただき会長職を楽しませていただきましたこと感謝いたします。一年間ありがとうございました。



各クラブ会長

会長主題 『未来創造』 ～35年の歩みに感謝 新たな一步を踏み出す～

京都キャピタルワイズメンズクラブ 吉井 崇人

上半期には、5年に一度の記念例会をおこないました。下半期は、というと今期に上げていた未来創造の主題にもあったように「未来創造委員会」を設置し、キャピタルクラブのことをメンバーで話し合うといった周年期といった特別な場を設けました。今後のキャピタルクラブはどのように進んでいくのか、そして、現状はどのような状況なのかの自分たちの立ち位置を確認し5年10年を念頭に置き、話し合いました。その活動は、記念誌特別冊子として発刊の予定です。今期のみ活動にならないように次期・今後にも意識をそのようにもっていく初めの第一歩になればと思っています。

そして、下半期には新たに2名のメンバーゲストの会入もあり、その他にも次期以降につながるようなメンバーゲストをお迎えできたこと、そしてメンバー間の交流事業を例年より多く持つことができたことは本当に大きなことでした。現状のキャピタルクラブは、前に進むための力がふつふつとみなぎっているようにも感じております。このような形で次期にバトンを渡せるということは、本当に

私は恵まれております。

そして京都部には、見習うべきたくさんの方のよいクラブがあります。そういった環境・すべてのワイズメンに感謝し、その京都部でもキャピタルクラブ・メンバーの存在を大きく感じていただけるような影響力のあるクラブを目指していきたいと思っています。

キャピタルクラブは、基本会長は一度しかできません。その人生で一度しかできない最初で最後の一年が終わろうとしています。私にとっても本当に貴重な大切な一年・経験になりました。こうして、京都部での活動・クラブ内の活動を通して、同期会長・クラブメンバー全てのワイズメンに感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



会長主題 出会う・つながりあわせる・よくしていく Encounter, Connect and Go well

京都プリンスワイズメンズクラブ 宇高 史昭

ワイズ経験3年で引き受けた会長職をわがまま言って2年連続して務めさせていただきました。まず皆様にこの機会をいただけたことに感謝申し上げます。この間、クラブの外に目を向ける機会を頂戴し、多くの方々との出会いを通じて、ワイズメン同士が心の通った交わりでつながっているという連帯感を実感しました。

ワイズメンズクラブは、YMCA・ユースサービスと地域奉仕が活動の両輪にあると私は考え、YMCAのブランディングスローガン「みつかる つながる よくなる」をヒントに「出会う・つながりあわせる・よくしていく～Encounter, Connect and Go well～」を主題にして、特により能動的によくしていくことを意識して、プリンスクラブは今期の活動をおこないました。

DV等から子供たちを守っていく子どもシェルター活動をされているNPO法人子どもセンターののさんの理事長を例会にお迎えし

て、卓話と共に今後のクラブの支援策を考える機会を持ったり、チャリティーゴルフ開催等募金活動をおこないました。また、長年支援している公益財団法人関西盲導犬協会の方と盲導犬をワイズデーにお招きし、盲導犬デモやグッズ販売の協力をおこなうと共に、例会で訓練センターを見学させていただき、交流・相互理解の機会を持ちました。

社会的弱者に寄り添い「よくしていく」支援活動を継続していくことは、一人ではできませんが、クラブで力を合わせて、地域奉仕活動を続けていくことができることに改めて喜びと感謝を感じた1年でした。



会長主題 「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」 ～成らぬは人の為さぬなりけり～

京都センチュリーワイズメンズクラブ 大槻 信二

下半期は、何と言ってもスリランカからのSTEP生 Miss.Pahaniさんをクラブとして受け入れたことが、ハイライトです。少人数のクラブが出来る事は限られていますが、その少ない人数の中でもホストファミリーを引き受けてくれるメンバーさえ居れば、国際クラブを標榜し、国際交流やYMCAの推し進める青少年育成を、肌身を以って感じられるワイズメンズクラブのプログラムです。勿論、文化も背景も異なる国からの若者をお預かりする訳ですから、食事を始めとする日常に多くの発見があります。それとて、来てくれたSTEP生だけではなく、受け入れる私たちホスト側にとっても、自国にいて異文化を体験する良い機会となりました。

今回は、観光の他、夜桜フェスタに参加してもらい京都のワイズメン、YMCAの活動に触れていただき、クラブ例会にも参加してい

いただきました。例会では、彼女自身、そして母国スリランカの紹介と共に、日本とスリランカの意外と知られていない関係の話をしてくれました。ご存知の通り、彼女の母国スリランカでは、爆弾テロが発生しましたが、彼女を送り出す2日前のことであり、大変心配もしました。

今回のSTEP生受け入れを通して、常日ごろから活動に参加し、ワイズの活動を理解していただいているメネットの力を再確認いたしました。西日本区83クラブの中で2クラブしか受け入れを表明できなかったことを考えると、改めて自クラブを誇りに思います。



会長主題 「Self improvement」 ～次世代へ発展するウイングクラブへ～

京都ウイングワイズメンズクラブ 佐藤 昌利

今期はじめての7月7日に台中グレートビジョンクラブとのIBC締結式があり、台中にて交流をしましたが、今年も3月9日に台中グレートビジョンクラブのメンバー8名が来日され、再び交流することができました。そして、ウイングメンバーと共に、全国車いす駅伝大会サポートをすることができました。今後、未永く続く交流への土台となる期になったと思います。また、1年ぶりにIBC締結先の金浦クラブとの事業、キムチ漬けが復活し、ウイングメンバー9名が訪韓し、交流をしてきました。実りの多いIBC活動ができた1年となりました。

また、5月の第2例会に100人例会を開催しました。その内容は、他クラブのワイズ関係メンバーを呼ばずに100人を達成

するというもので、ドライバー委員長、EMC委員長をはじめ、ウイングメンバーが各々、最後まで参加への呼びかけをした結果、初めて100名達成の例会となりました。メンバーの結束をみせていただいたと同時に、次期にはメンバー候補が3名できるという結果を残しました。次世代へ発展するウイングクラブへ～という私の会長副題を實踐して頂いたメンバーに感謝し、これからは引き続き、会長経験者という立場で目立たず、でも重要なアドバイスができるメンバーとして、ウイングクラブで活動していこうと思います。



各クラブ会長

会長主題 出合いを大切に

京都洛中ワイズメンズクラブ 竹内 俊樹

最後の仕事、引継例会が6月29日に終了しました。洛中クラブの皆様には、1年間支えていただきとても感謝しております。

昨年3月の会長研修会から、月日はあっという間に過ぎ去ってしまいました。この1年は、とにかくできる限りワイズの行事に参加することを目標として過ごしてきました。京都部の役員の皆様、他クラブの会長の皆様やメンバーの方々と会う機会が多くなり、新しい発見や経験をさせていただきました。この経験を今後、洛中クラブの活動に少しでも生かしていければと思っています。

洛中クラブとしては、残念ながら、メンバーの増員という目標が達成できませんでした。次期にはなんとか新メンバーを増員できるよう、努力したいと思います。

最後に、川上京都長はじめ役員の皆様、各クラブの会長様、1年間色々とお世話になりました。ありがとうございました。



会長主題 ゆっくりと確実に ～楽しみながら～

京都エイブルワイズメンズクラブ 白濱 廣史

一年を終えて

何とか、一年が終わりました、とは言え今期は派手なことはしないで無理のない一年ということでスタートしたのですが、期が始まると、例年通りにYMCAの支援やら、地域奉仕で長年支援をしている施設へのお手伝いとか宇治市の社会福祉協議会への参加活動とか、今年で5回目になる少年少女サッカー大会など、終わってみれば結局は例年通りの活動をこなす一年になってしまいました。

今回は2回目の会長だったので、こんなことをいってはいけなかもしれません、初めて会長をした時に比べたら結構、楽をさせ

ていただきました。会長よりも周りの三役さんや委員長さんの方が大変だと思うのですが、私共の様にメンバー数の少ないクラブでは会長を決めるのも大変なので、暫定ですが5年先の会長までを私の期の時に決めさせていただきました。

京都部部長様初めキャビネットの皆様、そして主査の皆様には大変お世話になりました。一年間ありがとうございました。



会長主題 Go Beyond 一歩ふみだして さあチャレンジ

京都グローバルワイズメンズクラブ 松浦 秀樹

一年を振り返りますと、今期7委員会中6名が初委員長というフレッシュなメンバーで活動してまいりました。当初不安な気持ちでのスタートでしたが各委員長さんの積極的な活動を見て驚きと同時に感謝の気持ちで一杯です。数字での結果も明らかで、新入会者6名、ニコニコ80万円超え、ファンド利益200万円超えなど、各事業とも想定以上の数字を叩き出してくれました。

特にEMC事業においては活発的な活動で、次期キックオフ例会でも8名の同時入会式が執りおこなわれます。あくまでも持論ですがメンバーの増加という問題は非常に大事なことを考えます。また、数だけでなく今のグローバルクラブはメンバー同士の絆は大変強固なものになっており、強い連携がとれて最高の状態です。今の目標

は30周年に向けて日本一のメンバー数を達成し、今まで以上に大きい事業をおこなうという目標にメンバー全員の気持ちが向かっております。

今期を改めて振り返りますと、今までクラブの活動に消極的であった私が会長という職務を利用して一番楽しんでたことに自分自身が驚いております。これはメンバーの皆様が支えてくださったおかげであると感謝いたしております。

京都部の川上部長はじめ役員の皆様一年間お疲れ様でした。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。



会長主題 続・みやび創成 = まずはプラスONE =

京都みやびワイズメンズクラブ 浜田 晋

先ずは1年間、会長としての責務をほとんど果たすことができず、クラブのメンバーには迷惑をかけっぱなしでした。そんな中で、こんな頼りない会長を本当に支えてくださり、出席できない会議等には代わって出席してもらったりと、メンバーの少ないみやびクラブではありますが「絆」、「感謝」、「助け合い」と痛いほど感じられたこの一年であったように思います。YMCA、ワイズメンズクラブの理念や信条等の一言一句を理解、把握している訳ではありませんが、日々の生活や活動の中で自然とこのようなことを感じられるグループというのは、やはり素晴らしいものだな！と感じ

ました。例会や行事ごとにもほとんど参加できませんでしたが、それでもたまに出席できた際には、変わりなく声をかけてくださる友情に、本当に心が救われることも多かったです。

他クラブとの交流や例会参加等、もっと個人的にもやれたことがあったかもしれませんが、次年度も一層よりよい年度となればと思っています。



会長主題 The power of human being 交流を通じ、人間力を高めよう！！

京都トップスワイズメンズクラブ 本田 正人

まず最初に1年を通して開催してきたトップス経営塾。とても素晴らしい講師の方、たくさんのゲストさんにも来ていただき、聞いた方は非常に意義のある講演になったと思いますし、ワイズメンズクラブを知らない方にはワイズを知っていただくよい機会になったと思います。これから経営塾は自己研鑽の場、ワイズメンズクラブの広報の場として続けていく予定です。次に最後までわからなかったのですが、なんとか滑り込みで台中エバーナイスクラブとのIBC締結をアジア大会にておこなえることが非常に嬉しく思います。また最後の事業でトップスクラブが支援しているぐんぐんハウス

さんとの焼肉交流会では事業資金援助もしていただき、例年になく良い交流会になりました。このように今期の主題に掲げている交流を通じて人間力を高めることを実践し自己研鑽、成長していってもらえたらと思い頑張ってきたことが実を結び最終的に最優秀クラブ賞という最高の結果がでて会長として非常に嬉しく思います。私の期が終わっても直前会長としてクラブのため、メンバーのために尽力していきたいと思っています。



会長主題 脚下照顧 今一度見つめ直そう ～ 答えは自分の中にある

京都トゥービーワイズメンズクラブ 溝口 誠

トゥービークラブ今期最大の山場、ホストクラブとして迎えた第22回西日本区大会。行き届かないところ多々あったかと思いますが、何とかやり遂げることができて安堵しています。

ゴルフを担当してもらった京都ZEROクラブをはじめ、たくさんのクラブ、ワイズメンの方々にご助力いただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、区大会の舞台で、台北A-LISTクラブとのIBC締結式を執りおこなうことができました。大会終了後の交流会もおおいに盛り上がり、先輩IBCの大阪泉北クラブを加えた3クラブでこれからの末長い交流を誓い合いました。

ほぼ西日本区大会の打上げのような雰囲気の後継例会をもって、ハードな1年を無事終えることができました。

このあとも、西日本区理事の輩出、そして再び第24回西日本区大会のホストと、ビックイベントが続きます。トゥービークラブらしく準備もメンバー全員で楽しみながら乗り切りたいと思います。



各クラブ会長

会長主題 進取（しんしゅ）果敢（かかん）～ 積極的に 自主的に 愉（たの）しむ ～

京都東稜ワイズメンズクラブ 近藤 敦无

京都東稜クラブの一年間の活動を振り返り、7月の祇園祭りゴミの清掃活動を始め、8月の四宮祭りゴミ清掃活動では、多くの他クラブメンバーの方々に応援いただき開催することができました。祇園祭りゴミ清掃の活動については、もう10年以上になり、随分綺麗な祇園祭りになってきたように感じます。

新メンバーも今期は2名を迎えることとなり、少数精鋭の東稜クラブとしては、心強いメンバーが増えました。何より、ここ数年、退会者がいないことが大変嬉しく思います。

毎年開催している名古屋グランパスの皆さんとのDBC交流も、今期は4月に四日市で開催されました。毎年のことですが、すごく楽しい交流ができています。

クラブ例会についても、5クラブ合同EMC例会等、多くの例会にゲストをお誘いして、より多くのゲストの方々に東稜クラブの愉

しい例会を体験していただくことで、メンバー獲得に結びつけていければという活動にうまく繋がっていると感じます。オータムフェスタやチャリティーラン等、Yサ活動では、なかなかメンバーが一同に集まれず、思い通りの活動ができませんでしたが、年2回のリトセンの皿洗い等、東稜クラブメンバーでできる活動をしてきました。

あっという間の一年間でしたが、多くの方々に支えられ、主題でもある『進取果敢』に目指せた活動ができたと感じています。この流れを次期へバトンタッチしていきたいと思います。皆様、一年間ありがとうございました。感謝申し上げます。



会長主題 「協働」 ～個人、組織の良い所を出し合おう～

京都ウェルワイズメンズクラブ 中村 典子

まず、最初にメンバーの皆様の御協力のおかげで1年間の事業並びにクラブ運営がスムーズに終えられたことを感謝いたします。

今期2回目の会長職を受け、良い意味でも悪い意味でも慣れが出ないように心がけようと思っておりましたが、そんなことを考える間もなく1年が過ぎていきました。

ウェルクラブはYサをはじめとたくさん事業がありますが、少人数ながらよくこれだけこなせたなと思うと同時に、メンバーの皆さんが1人でいくつもの役を受けていただき働いて下さったことは私以上に慌ただしい1年だったのではないかと感じております。

全ての例会にEMCを兼ねることを頭に置き、たくさんのお客様

の方々にも参加を呼び掛け、下半期には新メンバー一人を迎えることができました。今期ゲストとして参加して下さった方々が、次期以降メンバーとして入会して下さることに期待をして次期に引き継ぎたいと思います。

西日本区、京都部、他クラブのメンバーの皆様、そしてウェルのメンバーの皆様、1年間楽しく有意義な時間を過ごさせていただいたこと、感謝いたしております。本当にありがとうございました。



6月第2例会(引継)



6月第1例会(野外・1泊・サバエ)



都動物愛護センター花壇整備事業

会長主題 クラブ愛をみんなで育てよう！

京都ZEROワイズメンズクラブ 佐古田 正美

節目の第10期を迎える直前の第9期会長として、まず自分自身が変わることが最重要、と覚悟しました。私自身会歴9年のチャーターメンバーでありながら、最初の数年間はほとんど幽霊会員状態、さらにその後も例会出席や他クラブとの交流こそ、そこそこにやってきた自負はあったものの、次次期会長として指名されるまでは自クラブの状態が危機的な状況にあることを大して考えもせず、ただらと過ごしてきたことを痛感しました。

幸いなことに、この1～2年間に6名もの新人会員を迎えることができ、チャーターメンバーやベテランメンバーだけで回していた感のあったZEROクラブに新風が吹き始めてきていました。しかし私自身が変わらなければこの新人たちもクラブに失望してやがて

は去っていくことになってしまいます。

この1年で自分自身がどれだけ成長できたかはわかりませんが、この頼りない会長をちゃんとサポートしないとクラブが危ない！と皆さんに重大な危機感を持っていただいたことだけは確かなようです。その表れとして第10期の人事では、会歴3年未満の新会長の抜擢、会歴2年未満の3名もの新委員長の新抜擢という人事の刷新がなされ、新しい時代のZEROクラブの礎を作らなければ、という全員一致の意思が示されたと思います。今後ともZEROクラブへのご指導ご鞭撻をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



会長主題 楽しもうや 地域・YMCA・メンバーとの交流

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 柴田 貴史

北京都フロンティアクラブの皆様、一年間本当にお世話になりました。

この一年を振り返ると、例会は、キックオフ例会に始まり通常例会、講師例会などワイズメンバーが月に一度は集まれる場を作ろうとおこなってきました。しかし経験不足もあり、例会も前準備次第で参加人数が変わることを経験しました。一つひとつの例会を大事にして、注意を払って声掛けしていければと思います。

行事は、ちゃった祭り花火大会、クリスマス会、舞鶴学園交流会などをおこなうことができました。ちゃった祭り花火大会、クリス

マス会は、もくもく様と交流ができ歌ったり、踊ったり、ビンゴゲームで楽しみました。あらためてボランティアの意義を感じることができ、良かったと思います。この事業は、今後も継続していただきたい事業です。

ただ残念なのは、この一年間で会員数を減らしてしまう結果になりました。力不足を痛感しています。次年度は、直前会長として、会員数が増やせるよう、声掛けしていきたいと思っています。一年間、本当にありがとうございました。

